

平成20年3月期 第1四半期財務・業績の概況(非連結)

平成19年8月10日

上場会社名	イー・ギャランティ株式会社	上場取引所	JASDAQ
コード番号	8771	URL	<a href="http://www.eguarantee.co.jp">http://www.eguarantee.co.jp</a>
代表者	(役職名) 代表取締役社長	(氏名)	江藤 公則
問合せ先責任者	(役職名) 常務取締役	(氏名)	馬場 豊吉
		TEL	(03)5447-3577

(百万円未満切捨て)

1. 平成20年3月期第1四半期の業績(平成19年4月1日～平成19年6月30日)

(1) 経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第1四半期	433	—	66	—	68	—	67	—
19年3月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—
19年3月期	1,421	36.4	208	47.2	196	36.7	164	3.3

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年3月期第1四半期	3,332	35	3,281	93
19年3月期第1四半期	—	—	—	—
19年3月期	8,521	59	8,509	89

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
20年3月期第1四半期	2,452		1,470		59.9	72,773	25	
19年3月期第1四半期	—		—		—	—	—	
19年3月期	2,496		1,402		56.2	69,440	91	

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー		投資活動によるキャッシュ・フロー		財務活動によるキャッシュ・フロー		現金及び現金同等物期末残高	
	百万円		百万円		百万円		百万円	
20年3月期第1四半期	△81		△265		—		268	
19年3月期第1四半期	—		—		—		—	
19年3月期	431		△938		223		615	

(注) 前年同四半期の数値に関しましては、四半期財務諸表を作成しておりませんので記載を省略しております。

2. 配当の状況

	1株当たり配当金	
(基準日)	第1四半期末	
	円	銭
19年3月期第1四半期	—	—
20年3月期第1四半期	—	—

3. 平成20年3月期の業績予想(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

業績予想の見直しは行っておりません。詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

4. その他

(1) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有

(2) 最近事業年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

[(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。]

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、予想数値と異なる場合があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、原油価格の上昇など懸念材料はあるものの、好調な企業収益を背景とした設備投資の活発化により、景気の緩やかな拡大が続いております。

一方、当社を取り巻く環境として、企業の法的整理による倒産が増加しております。特に、2007年5月、6月の企業の倒産件数は高水準を記録しており、企業活動における信用リスクのリスク管理は、重要性を増しております。

このような環境下において、当社の主力サービスである信用リスク保証サービスは、堅調に推移しました。

当第1四半期においては、九州・中国地方への営業網の拡大を目的として、九州支店を開設しました。その結果、当社の営業拠点は、東京本社・大阪支店・九州支店の1本社2支店となり、日本各地での市場開拓が可能となりました。

事業法人向け保証サービスにおいては、前期に引き続き、地方銀行との1県1行の提携戦略に基づき、名古屋銀行、山口銀行、百十四銀行等と新たに業務提携を行い、その結果、業務提携を行う地方銀行は計22行となりました。また、金融機関以外との提携にも積極的に取り組み、有限責任中間法人日本中小企業経営支援専門家協会との提携にいたしました。

金融法人向け保証サービスにおいては、金融法人向けサービスの強化・新規ビジネスモデルの構築を行う金融法人営業部を設置し、積極的な営業活動を展開しました。

以上の結果、当第1四半期における業績は、売上高433,196千円、営業利益66,567千円、経常利益68,294千円となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

①財政状態の変動状況

当第1四半期末の総資産は2,452,760千円となり、前期末に比べ43,282千円減少いたしました。この主な要因は、流動資産が56,944千円(現金及び預金97,592千円、売掛金10,121千円、未収入金15,130千円)減少したことによるものであります。

当第1四半期末の負債総額は982,741千円となり、前期末に比べ110,595千円減少いたしました。この主な要因は、前受金が98,586千円減少したことによるものであります。

当第1四半期末の純資産は1,470,019千円となり、前期末に比べ67,313千円増加いたしました。この要因は、利益剰余金が67,313千円増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は前期末に比べ347,592千円減少し、268,350千円となりました。

当第1四半期末における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

〔営業活動によるキャッシュ・フロー〕

営業活動の結果減少した資金は81,677千円となりました。この主な要因は、業績が順調に推移したことにより税引前四半期純利益を68,294千円計上する一方で、前払費用の増加59,988千円、前受金の減少98,586千円となったこと等によるものであります。

〔投資活動によるキャッシュ・フロー〕

投資活動の結果減少した資金は265,915千円となりました。この主な要因は、定期預金の預入による支出250,000千円によるものであります。

〔財務活動によるキャッシュ・フロー〕

財務活動による資金の増減はありませんでした。

3. 業績予想に関する定性的情報

当第1四半期の業績は、売上高、利益共に、当初の計画通り推移しております。

第2四半期以降、信用リスクのリスク管理の重要性の高まりを背景に、引き続き、各機関との提携を行うとともに、積極的な営業活動を行う方針です。

現状では、平成19年5月14日時点の中間期業績予想である売上高956百万円(前年同期比52.9%増)、経常利益126百万円(前年同期比63.5%増)、当期純利益59百万円(前年同期比24.9%減)、通期業績予想である売上高2,040百万円(前年同期比43.5%増)、経常利益300百万円(前年同期比52.6%増)、当期純利益156百万円(前年同期比4.7%減)につきましては、変更はございません。

4. その他

(1) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

税金費用の計上基準については簡便的な方法を採用しており、前事業年度に原則法により計算した繰延税金資産はそのまま繰り越しております。

(2) 最近事業年度からの会計処理の方法の変更

法人税法の改正（（所得税法等の一部を改正する法律 平成19年3月30日 法律第6号）及び（法人税法施行令の一部を改正する政令 平成19年3月30日 政令83号））に伴い、平成19年4月1日以降に取得した有形固定資産の減価償却費については、改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

なお、この変更により営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

5. (要約) 四半期財務諸表

(1) (要約) 四半期貸借対照表

(単位：千円、%)

科 目	当四半期末 (平成20年3月期第1四半期末)		(参 考) 前期末 (平成19年3月期末)	
	金額	構成比	金額	構成比
(資産の部)				
I 流動資産				
1. 現金及び預金	1,918,350		2,015,943	
2. 売掛金	1,929		12,051	
3. 前払費用	257,805		197,817	
4. 繰延税金資産	45,111		45,111	
5. 未収入金	123,814		138,944	
6. その他	6,945		1,034	
流動資産合計	2,353,957	96.0	2,410,901	96.6
II 固定資産				
1. 有形固定資産	42,507	1.7	34,073	1.4
2. 無形固定資産	6,801	0.3	7,211	0.3
3. 投資その他の資産	49,495	2.0	43,856	1.7
固定資産合計	98,803	4.0	85,141	3.4
資産合計	2,452,760	100.0	2,496,043	100.0

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

(単位：千円、%)

科 目	当四半期末 (平成20年3月期第1四半期末)		(参 考)前期末 (平成19年3月期末)	
	金額	構成比	金額	構成比
(負債の部)				
I 流動負債				
1. 買掛金	45,276		44,001	
2. 未払法人税等	—		5,437	
3. 前受金	842,025		940,611	
4. その他	39,535		49,477	
流動負債合計	926,837	37.8	1,039,527	41.6
II 固定負債				
1. 役員退職慰労引当金	15,904		13,809	
2. 預り保証金	40,000		40,000	
固定負債合計	55,904	2.3	53,809	2.2
負債合計	982,741	40.1	1,093,337	43.8
(純資産の部)				
I 株主資本				
1. 資本金	1,048,575	42.7	1,048,575	42.0
2. 資本剰余金				
資本準備金	458,575		458,575	
資本剰余金合計	458,575	18.7	458,575	18.4
3. 利益剰余金				
繰越利益剰余金	△37,130		△104,443	
利益剰余金合計	△37,130	△1.5	△104,443	△4.2
株主資本合計	1,470,019	59.9	1,402,706	56.2
純資産合計	1,470,019	59.9	1,402,706	56.2
負債純資産合計	2,452,760	100.0	2,496,043	100.0

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

(2) (要約) 四半期損益計算書

(単位：千円、%)

科 目	当四半期 (平成20年3月期第1四半期)		(参 考) 前期 (平成19年3月期)	
	金額	構成比	金額	構成比
I 売上高	433,196	100.0	1,421,338	100.0
II 売上原価	200,538	46.3	705,989	49.7
売上総利益	232,657	53.7	715,349	50.3
III 販売費及び一般管理費	166,090	38.4	506,815	35.6
営業利益	66,567	15.3	208,534	14.7
IV 営業外収益	1,727	0.4	2,067	0.1
V 営業外費用	—		13,976	1.0
経常利益	68,294	15.7	196,625	13.8
VI 特別損失	—		123	0.0
税引前四半期(当期)純利益	68,294	15.7	196,502	13.8
税金費用	981	0.2	32,327	2.2
四半期(当期)純利益	67,313	15.5	164,174	11.6

(注) 1. 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

2. 当四半期の税金費用は、課税所得の発生がないことから住民税均等割上期計上額のうち2分の1を計上しております。

(3) (要約) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	当四半期 (平成20年3月期第1四半期)	(参 考) 前期 (平成19年3月期)
区分	金額	金額
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期(当期)純利益	68,294	196,502
減価償却費	2,599	8,469
役員退職慰労引当金の増加額	2,094	8,005
受取利息	△1,727	△2,028
株式交付費	—	6,170
上場関連費用	—	7,800
固定資産除却損	—	123
売上債権の減少額	10,121	2,509
仕入債務の増減額(△は減少)	1,274	△5,002
前払費用の増加額	△59,988	△19,127
未収入金の増減額(△は増加)	15,130	△138,944
前受金の増減額(△は減少)	△98,586	357,370
その他	△19,165	10,223
小計	△79,952	432,071
利息の受取額	705	1,765
法人税等の支払額	△2,430	△2,315
営業活動によるキャッシュ・フロー	△81,677	431,521
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△250,000	△900,000
有形固定資産の取得による支出	△10,297	△40,075
無形固定資産の取得による支出	△324	△512
敷金保証金の差入による支出	△5,293	△5,179
敷金保証金の返還に伴う収入	—	7,578
投資活動によるキャッシュ・フロー	△265,915	△938,189
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
株式発行による収入	—	230,979
株式上場に伴う支出	—	△7,800
財務活動によるキャッシュ・フロー	—	223,179
<b>IV 現金及び現金同等物の減少額</b>	△347,592	△283,488
<b>V 現金及び現金同等物の期首残高</b>	615,943	899,431
<b>VI 現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高</b>	268,350	615,943

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。